

講義名	管理会計論		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	早川 翔		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

管理会計は、社長から部長レベル、そして現場の第一線で活躍する従業員まで、企業「内部」の人々に情報を提供するための会計です。企業内部の人々は、さまざまな経営上の問題を解決するために管理会計情報を利用します。本講義では、企業内において管理会計情報がどのように利用されているのかについて学習していきます。

到達目標

本講義では、管理会計における基礎知識の習得を目的とします。そして、みなさんが管理会計の基礎知識をマスターし、実際のビジネスで活用できるようになることを到達目標とします。

提出課題

毎回の講義終了後に、授業内容にもとづいた授業内課題を課します。課題の提出にはスマートフォンやタブレットなどが必要です。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

次の授業の講義冒頭にてフィードバックを行います。正答率が低い課題に対しては、再度解説を行う場合があります。

評価の基準

毎回の授業内課題の成績（50%）と学期末試験（50%）で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

- ・授業では計算問題を扱うことがあるため電卓が必要です。
- ・ICTを活用した授業内課題を実施するため、スマートフォンやタブレット端末が必要です。

教科書

. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

プリント資料
毎回の講義で使用します。
参考文献
谷武幸 2013 『エッセンシャル管理会計（第3版）』 中央経済社
櫻井通晴 2010 『管理会計 基礎編』 同文館出版
伊丹敬之・青木康晴 2016 『現場が動き出す会計：人はなぜ測定されると行動を変えるのか！』 日本経済新聞出版社

授業計画

- 第1回 管理会計とは何か？
- 第2回 管理会計の基礎概念
- 第3回 意思決定促進機能
- 第4回 意思決定影響機能
- 第5回 原価管理1 直接材料費、直接労務費の分析
- 第6回 原価管理2 製造間接費の分析（2分法、3分法①）
- 第7回 原価管理3 製造間接費の分析（3分法②、4分法）
- 第8回 前半のまとめ
- 第9回 予算管理
- 第10回 業績評価と報酬制度
- 第11回 バランスト・スコアカード
- 第12回 アメーバ経営
- 第13回 創造性と管理会計
- 第14回 後半のまとめ
- 第15回 全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次の授業までに、授業で扱った問題について独力で読みなく解けるまで復習する必要がある（4時間程度）

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業内課題にてICTを利用します。

実務経験の有無及び活用

備考